

# めぐみの学校の子

恵田小 校長室だより

令和元年十一月二十八日

No. 142

## 地域のよさ＝めぐみ

校地内のもみじは鮮やかさを増している。恵田小の紅葉はほぼ例年どおりだ。紅葉のいちばんよいころ、学区収穫感謝祭が行われる。



保護者、学区のボランティア、恵田小応援隊を募って運営することにして2年目。今年も、多くの方の協力を得られる。そのなかには、今年20歳を迎える卒業生が含まれる。まさに「めぐみの和」である。

P T C A（P T AにC：地域を加えた組織）化を目指して2年目。今週行う収穫感謝祭は、P T C Aの活動そのものに思う。以前は、学区文化祭のお餅や豚汁の提供は、P T Aだけでほとんど行っていた。昨年からは、お餅や豚汁の提供に、収穫感謝祭担当ではない保護者、地域の方に加わっていただいた。成果は、P T A会員数減少への対応ができたこと、地域の方に加わっていただき、学校・地域づくりがさらに進んだという点である。P T C A化の大きな一歩を進められた。

収穫感謝祭など、地域とともに行う行事の大きな目標の一つは、恵田の宝、恵田っ子の成長につながることである。地域に、そして、地域とともに学ぶ恵田っ子＝「めぐみの学校の子」にとって、恵田学区＝「めぐみの里」がさらにより環境になることが成長につながる。恵田っ子の成長は、その地をさらに魅力ある地にし、それがまた、恵田っ子を育むという好循環へとつながる。恵田の「ひと・こと・もの」のよさは、めぐみである。「めぐみの和」を掲げ、さらに学校・地域づくりを進めたい。

### 恵田っ子へ

収穫感謝祭（しゅうかくかんしゃさい）

1 収穫感謝祭のこともくわしくなってください。

2 まえの会から収穫感謝祭となつてからだいたい何年（なんねん）ぐらいたつでしょう。

3 米（こめ）づくりは、最初（さいしよ）、公民館（こみやんかん）近（ちか）くの田（た）んぼで行（おこな）われていました。○か×か。

4 今年（ことし）の収穫感謝祭で、恵田っ子が売（う）るものをすべて選（えら）びましょう。

5 今年からとんじるに使（つか）うみそは、何年生が、だれに教（おし）えてもらって作ったでしょう。

① 六年生・渡辺（わたなべ）さん ② 五年生・若江（わかえ）さん ③ 四年生・佑佳（ゆうか）先生 ④ 三年生・森下教頭（もりしたきょうとう）先生